

2020年6月12日

受益者の皆さまへ

楽天投信投資顧問株式会社

**弊社ファンドの基準価額下落について**

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年6月12日、以下の弊社ファンドの基準価額が前営業日比で5%以上、下落しましたのでご報告します。

**(1) ファンドの基準価額と騰落率**

ファンド名	基準価額 (円)	前営業日比 (円)	騰落率 (%)	(ご参考) 報告基準
楽天USリート・トリプルエンジン(豪ドル)毎月分配型	2,683	△166	△5.8	5%以上下落
楽天USリート・トリプルエンジン(トルコリラ)毎月分配型	1,924	△105	△5.2	同上
楽天みらいファンド	14,420	△770	△5.1	同上
楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)	8,559	△886	△9.4	同上
楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)	16,232	△1,471	△8.3	同上
楽天グローバル株式ファンド	12,515	△837	△6.3	同上
楽天・全世界株式インデックス・ファンド	10,127	△643	△6.0	同上
楽天・全米株式インデックス・ファンド	11,438	△753	△6.2	同上
楽天・新興国株式インデックス・ファンド	8,570	△486	△5.4	同上
楽天・米国高配当株式インデックス・ファンド	9,089	△631	△6.5	同上
楽天グローバル中小型バリュー株ファンド	6,872	△581	△7.8	同上

※ 弊社公募投資信託のうち、DC（確定拠出年金）専用、ETF（上場投資信託）は除きます。また、基準価額が前営業日比5%以上（投資信託協会分類の特殊型（ブル・ベア型）ファンドの場合は、別に定める水準）下落のファンドで、上記に記載のないものは別途作成します。

**(2) 市況動向**

6月11日の金融市場では、前日のパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の記者会見において今後の経済について慎重な見方が示されたことや、経済活動が再開された米フロリダ州やテキサス州で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことを受けて感染第二波への懸念が高まったことなどを背景に、米国株式をはじめ多くのリスク資産が大きく調整する展開となりました。米国株式の主要3指数が軒並み5%を超える下落となったほか、欧州株、米国リートなども大きく調整しました。また、景気回復への楽観的な見方が後退する中で原油などの資源価格が調整し、合わせて豪ドルやブラジル・リアルなどの資源国通貨が対円で下落したほか、リスクオフ局面で売られやすいトルコリラなどの新興国通貨も軟調な推移となりました。一方、市場のリスク回避姿勢が高まる局面で上昇する傾向のあるVIX指数は、27ポイント台から40ポイント台まで大きく跳ね上がりました。

### (3) 今後の見通し

6月11日のリスク資産の下落は、楽観に傾きすぎていた市場のセンチメントの揺り戻しと足元の経済環境と乖離して上昇を続けてきた株式市場への高値警戒感の高まりを背景とする一時的な調整という側面が強いと思われます。全米レベルでは新規感染者数の拡大ペースが加速しているわけではなく、経済活動を再開させた欧州や日本でも感染再拡大が見られる状況ではないため、調整の売りが一巡すれば市場は徐々に落ち着きを取り戻す展開になると考えます。今後も景気動向や感染状況を受けて市場が不安定化する局面が想定されますが、世界的な経済活動再開という大きな流れは変わらないと考えられ、また、感染再拡大を受けて経済活動が落ち込む場合でも、各国政府当局による迅速な政策対応が支援材料になり、株式市場などのリスク資産は、今回のような短期的な調整を経ながらも、持ち直していく傾向は維持されると予想しています。

以上

## 【重要な注意事項】

## ◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります）ので、基準価額は変動します。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

## ◎投資信託に係る費用について

《投資者が直接的に負担する費用》

- 購入時手数料  
上限 3.30%（税込）
- 信託財産留保額  
上限 0.75%

《投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用》

- 運用管理費用（信託報酬）  
上限 年率2.135%（税込）  
※一部のファンドについては、運用成果に応じて成功報酬をいただく場合があります。
- その他の費用・手数料  
上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。  
※その他の費用・手数料等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率や上限額を表示することができません。  
\* 費用・手数料等の合計額は、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができません。

## &lt;ご注意&gt;

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、楽天投信投資顧問が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## &lt;当資料のお取扱いにおけるご留意点&gt;

- 当資料は楽天投信投資顧問が情報提供を目的に作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 楽天投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第1724号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会